

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月10日

会社名 チッソ株式会社 URL <http://www.chisso.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木庭 竜一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務部長 (氏名) 田村 秀人 (TEL) 03 (3243) 6375

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円
2020年3月期第3四半期	109,112	△5.1	△778	—	△1,077	—	△8,614
2019年3月期第3四半期	114,936	△1.3	△2,423	—	△627	—	△4,800

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △8,639百万円(—%) 2019年3月期第3四半期 △3,486百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△55 33	—
2019年3月期第3四半期	△30 83	—

(参考) 持分法投資利益 2020年3月期第3四半期 897百万円 2019年3月期第3四半期 1,780百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	258,629	△127,520	△54.0	△896 88
2019年3月期	268,677	△117,942	△48.6	△838 77

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 △139,626百万円 2019年3月期 △130,588百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	0 00	0 00
2020年3月期	—	—	—		
2020年3月期(予想)				0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	154,500 △0.3	△600 —	— —	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 有
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	156,279,375株	2019年3月期	156,279,375株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	598,862株	2019年3月期	589,381株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	155,685,426株	2019年3月期3Q	155,696,738株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. （要約）四半期連結財務諸表	
（1）（要約）四半期連結貸借対照表	5
（2）（要約）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
（継続企業の前提に関する注記）	6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	6
（追加情報）	6
（重要な後発事象）	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

1) 業績全般

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得の改善が続くなか、緩やかな回復基調となりました。一方で、海外経済における米中貿易摩擦の動向や中国経済の減速、英国のEU離脱問題等の影響により、輸出や生産には弱さが見られたほか、企業収益は高い水準ながらも製造業を中心に伸び悩むなど、景気先行きの不透明感が続く状況となりました。

このような状況のもと当社グループでは、液晶材料事業において、中国液晶材料メーカーの台頭による市況悪化の影響を受けるなど、厳しい事業環境が続きました。こうした事業環境の変化に対処すべく、収益体質の改善を図るために、不採算事業の見直しや生産拠点の最適化等の構造改革の推進に注力したほか、安定した収益基盤の確立に向けて、電力事業において、既存水力発電所のF I T（再生可能エネルギー固定価格買取制度）化工事を引き続き推進しました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は109,112百万円、営業損失は778百万円、経常損失は1,077百万円となりました。特別損失として、減損損失2,392百万円、事業整理損1,046百万円、水俣病補償関係損失（2019年4月1日から12月31日までの水俣病被害者への救済一時金8百万円を含む）2,246百万円等の合計6,323百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失は8,614百万円となりました。

2) セグメント別概況

① 機能材料（液晶材料等）

液晶材料は、中国での大型液晶パネル製造ラインの立ち上げに伴い、主力の液晶テレビ市場においてパネルの供給過剰の傾向が見られたほか、中国液晶材料メーカーの台頭による影響を受けたことから、テレビ用途を中心に販売価格が低下し、売上は減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は21,002百万円となりました。

なお、液晶材料事業において、事業環境の変化に対応すべく、生産設備の最適化を進めております。これに伴い、当第3四半期連結累計期間において減損損失を特別損失に計上いたしました。

② 加工品（繊維製品、肥料等）

繊維製品は、原綿の国内販売は堅調に推移しましたが、中国・アジア地域の衛生材料市場における価格及び品質面での競争激化により、汎用不織布の出荷が伸び悩み、売上は減少しました。肥料は、アジア地域向けの被覆肥料の輸出が堅調でしたが、前年に発生した肥料価格値上げ前の先取り需要の反動から、化成肥料を中心に出荷が低調となり、売上は減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は42,401百万円となりました。

なお、当社連結子会社であるJNC株式会社において、電子部品事業並びにリチウムイオンバッテリー用セパレーター事業からの撤退を決定しております。これに伴い、当第3四半期連結累計期間において事業整理損及び減損損失を特別損失に計上いたしました。

③ 化学品（アルコール等）

オキシアルコールは、アジア市場における市況軟化の影響により輸出環境が悪化したことに加え、原料ナフサ価格の下落により販売価格が低下し、売上は減少しました。シリコン製品は、自動車関連市場の落ち込みが続いたことから販売は低調となり、売上が減少しました。ポリプロピレンは、米中貿易摩擦による世界経済の低迷から、堅調に推移していた国内自動車向けの需要に減少傾向が見られたほか、安価な輸入品の流入による影響を受けました。

この結果、当セグメントの売上高は20,697百万円となりました。

④ 商事

主力のポリプロピレンの販売は、原料ナフサ価格の下落により販売価格が低下しましたが、仕入先の設備トラブルによる影響が解消したことから出荷が堅調となり、売上は増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は16,077百万円となりました。

⑤ 電力

引き続き、F I T 活用に向けた既存水力発電所の大規模改修工事を進めました。また、一部の水力発電所において渇水の影響を受けたものの、総じて各発電所が順調に稼働したことから、売上は増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は 4,434 百万円となりました。

⑥ その他（エンジニアリング等）

エンジニアリング事業は、石油化学業界における設備能力増強等の手持案件の工事が順調に進捗し、売上は増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は 4,498 百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第 3 四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ 10,047 百万円減少し、258,629 百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少（4,480 百万円）と未収入金の減少（2,157 百万円）によるものです。

当第 3 四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ 469 百万円減少し、386,150 百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少（785 百万円）によるものです。

当第 3 四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ 9,578 百万円減少し、△127,520 百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少（8,614 百万円）と非支配株主持分の減少（540 百万円）によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020 年 3 月期の業績予想につきましては、2019 年 11 月 12 日に公表しました業績予想から変更しておりません。

なお、通期（連結・個別）の当期純利益につきましては、水俣病関連損失の予想が困難であることから、引き続き未定としております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

（有形固定資産の償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、従来、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について、定率法（ただし、1998 年 4 月 1 日以降取得した建物（建物付属設備を除く）並びに 2016 年 4 月 1 日以降に取得した建物付属設備及び構築物については、定額法）を、在外連結子会社は定額法を採用していましたが、第 1 四半期連結会計期間より当社及び国内連結子会社においては、定額法に変更しております。

当社グループは、主要事業の機能材料事業や繊維事業の成長市場である中国およびアジアにおける、販売数量の増加及びそれに対応するための現地での生産量の増産体制構築のために設備投資を行い、事業のグローバル展開を進めてまいりました。一方で、国内においては、市場の需要に見合った生産量の維持や安定的な生産をするための維持・更新を目的とした設備投資を進めてまいりました。また、新たに策定した 2019 年度からの 3 カ年の中期経営計画での主要な新規投資計画としては、電力事業における既設の水力発電所における F I T 対応工事となります。

こうした事業および投資環境を踏まえ、新たな中期経営計画の策定を契機に、当社グループの減価償却方法について再検討いたしました。その結果、当社及び国内連結子会社の有形固定資産は、長期的かつ安定的に稼働し、当社及び国内連結子会社の安定的な収益の獲得に貢献することが見込まれることから、国内においても有形固定資産の減価償却方法として定額法を採用することが経済実態をより適切に反映すると判断いたしました。

この変更により、従来の方によった場合に比べ、当第 3 四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失が 764 百万円それぞれ減少しております。

3. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第3四半期連結 会計期間 (2019年12月31日)	前連結会計年度 (2019年3月31日)	増 減	
	金額	金額	金額	増減率
(資産の部)				
I 流動資産	126,599	134,556	△7,956	△ 5.9%
II 固定資産	131,533	133,430	△1,897	△ 1.4%
III 繰延資産	495	689	△194	△ 28.1%
資産合計	258,629	268,677	△10,047	△ 3.7%
(負債の部)				
I 流動負債	105,996	105,555	441	0.4%
II 固定負債	280,153	281,063	△910	△ 0.3%
負債合計	386,150	386,619	△469	△ 0.1%
(純資産の部)				
I 株主資本	△150,477	△141,862	△8,614	—
II その他の包括利益	10,850	11,274	△424	△ 3.8%
III 非支配株主持分	12,106	12,646	△540	△ 4.3%
純資産合計	△127,520	△117,942	△9,578	—
負債、純資産合計	258,629	268,677	△10,047	△ 3.7%

(2) (要約) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位:百万円)

科 目	当第3四半期連結 累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	前第3四半期連結 累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	増 減		(参考) 前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	109,112	114,936	△5,824	△ 5.1%	155,025
II 売上原価	90,515	95,794	△5,279	△ 5.5%	130,317
売上総利益	18,597	19,142	△545	△ 2.8%	24,707
III 販売費及び一般管理費	19,376	21,565	△2,189	△ 10.2%	28,495
営業損失(△)	△778	△2,423	1,644	—	△ 3,787
IV 営業外収益	1,722	3,444	△1,722	△ 50.0%	4,676
V 営業外費用	2,020	1,648	372	22.6%	2,281
経常損失(△)	△1,077	△627	△450	—	△ 1,391
VI 特別利益	89	40	49	122.5%	217
VII 特別損失	6,323	2,473	3,850	155.7%	4,053
税金等調整前四半期純損失(△)	△7,312	△3,060	△4,252	—	△ 5,228
税金費用	902	1,189	△287	△ 24.1%	2,013
四半期純損失(△)	△8,215	△4,250	△3,964	—	△ 7,241
非支配株主に帰属する四半期利益	398	549	△150	△ 27.5%	909
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,614	△4,800	△3,813	—	△ 8,151

(四半期連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

科 目	当第3四半期連結 累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	前第3四半期連結 累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	増 減		(参考) 前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
	金額	金額	金額	増減率	金額
四半期純損失(△)	△8,215	△4,250	△3,964	—	△ 7,241
その他の包括利益					
その他有価証券評価差額金	123	△37	160	—	△ 168
為替換算調整額	△325	92	△417	—	215
退職給付に係る調整額	△32	351	△384	—	469
持分法適用会社に対する持分相当額	△189	358	△547	—	△ 56
その他の包括利益合計	△424	764	△1,188	—	460
四半期包括利益	△8,639	△3,486	△5,153	—	△ 6,781

(内訳)

親会社株主に係る四半期包括利益	△9,038	△4,038	△ 7,695
非支配株主に係る四半期包括利益	398	552	913

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

重要な事業からの撤退

1. 撤退する事業

電子部品事業

2. 概要

当社グループでは、1989 年来 30 年近くに亘り電子部品事業を展開してまいりましたが、主たる向け先であるフラットパネルディスプレイ市場の変遷により、事業を取り巻く環境は年々悪化してまいりました。

今般、あらためて事業継続に関し検討いたしましたところ、将来的にも収益の確保、業績の改善が困難であると判断し、当社の連結子会社である J N C 株式会社の 2019 年 8 月 8 日開催の取締役会において電子部品事業から撤退することを決議いたしました。なお、当該事業における当第 3 四半期連結累計期間の売上高は 1,195 百万円であります。

3. 撤退時期

顧客との生産スケジュールを調整の上、2020 年 3 月末に顧客への製品出荷完了を目処とし、撤退することを予定しております。

4. 撤退が営業活動等に及ぼす重要な影響

当該事業撤退に伴う 2020 年 3 月期の連結業績に与える影響額は精査中であります。なお、事業の撤退に伴う損失として、当第 3 四半期連結累計期間において、特別損失に事業整理損として減損損失を 1,046 百万円計上しております。その他の特別損失に関しましても発生が見込まれますが、現時点では未定であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。